



令和元年 10 月 31 日

SGU×高大連携×SDGs 岡大生と高校生のジョイントプログラムによる海外研修を実施しました

◆発表のポイント

- ・岡山大学医学部保健学科では、初の試みとして同学科 1 年生と医療と国際交流に関心のある高校生が合同で海外研修を行いました。
- ・高校時代から岡山大学生とともに海外での医療系学習に触れることで、将来医療人になりたいという思いをさらに育み、国際感覚豊かな医療人としての成長を期待したいと思えます。
- ・今後、ジョイントプログラムでの海外研修を希望する高校があれば積極的に受け入れ、発展的に本事業を継続していきたいと考えています。

9 月 22～25 日、岡山大学医学部保健学科 1 年生 18 人と医療に関心のある総社高校 2 年生の 3 人が韓国釜山市にある釜山カトリック大学で合同研修を行いました。

グローバル化に対応した教育や環境づくりは喫緊の課題であり、岡山大学は SGU（スーパーグローバル大学）としてその使命を果たす必要があります。また、医療の現場において多職種連携は必要不可欠となっており、コミュニケーション能力や課題探求能力を持つ人材育成が求められています。

同学科では、2016 年度より 1 年次の必修科目である「チーム医療演習」の中で海外班を編成し、台湾（台北、高雄）と韓国（釜山）のアジア 3 地域で海外の医療系学生と交流活動を毎年行っています。

今回、初の試みとして高大連携の一環で、本学学生と医療や国際交流に興味を持つ高校生が「チーム医療演習」のジョイントプログラムとして、海外の医療系大学にて現地の学生とともに国際交流などの海外研修を行いました。

高校時代から海外で国際交流や医療系学習に触れることで、将来医療人になりたいという思いをさらに育み、国際感覚豊かな医療人としての成長を期待したいと思えます。

今後もジョイントプログラムとして参加を希望する高校があれば積極的に受け入れ、発展的に本事業を継続していきたいと考えています。



PRESS RELEASE

■発表内容

グローバル化に対応した教育や環境づくりは喫緊の課題であり、岡山大学はスーパーグローバル大学（SGU）としてその使命を果たす必要があります。また、医療の現場において多職種連携は必要不可欠となっており、コミュニケーション能力や課題探求能力を持つ人材育成が求められています。岡山大学医学部保健学科では、これまで学生の海外派遣や外国人学生の受け入れを行っていましたが、正規の授業ではなく課外活動という形で行われてきたため、少人数での活動となっていました。

そこで岡山大学医学部保健学科では、2016年度より1年次の必修科目である「チーム医療演習」の中で海外班を編成し学生の海外派遣を開始しました。当初は高雄（台湾）のみでしたが、現在では台北（台湾）と釜山（韓国）を加えたアジア3地域に拡大し、毎年50人程度の学生を派遣しています。現地では、施設見学や英語によるプレゼン、現地の医療系学生との交流活動などを行っています。

今回、岡山大学医学部保健学科では初の試みで、高大連携の一環として、医療や国際交流に興味を持つ総社高校2年生3人と岡山大学医学部保健学科1年生18人が、9月22～25日の3泊4日で韓国釜山市にある釜山カトリック大学において、「チーム医療演習」のジョイントプログラムとして海外研修を行いました。

現地では、英語によるプレゼン、施設見学、現地学生と一緒に講義・実習への参加などを行いました。また、最終日には現地の学生とチームを組んで観光や食事にも出かけ親睦を深めました。

今回参加した高校生の1人は、西日本豪雨で被災し家を失った経験があり、それをもとに英語でプレゼンを行いました。避難所で出会った医師や看護師から影響を受けたことも語っており、現地の学生のみならず、参加した岡大生たちにも大きな刺激を与えていました。また、プレゼン後の質疑応答において、参加した高校生の1人は岡山大学で看護師を目指したいと英語で質問に答えました。

大学生のみならず、高校生も早い段階で海外での医療系学習に触れ、国際交流を行うことで、医療人になりたいという思いをさらに育み、国際感覚豊かな医療人としての成長することを期待したいと思います。

今後、ジョイントプログラムでの海外研修を希望する高校があれば、積極的に受け入れ発展的に本事業を継続していきたいと考えています。



PRESS RELEASE

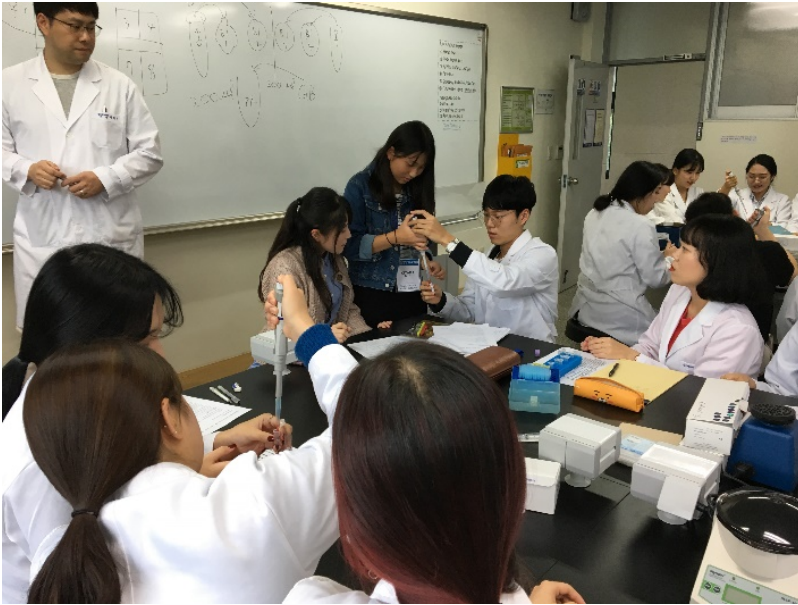


写真1 現地での合同実習の様子

参加した高校生の1人が現地の学生からマイクロピペットの使い方について指導を受けています。



写真2 海外研修最終日の合同写真

プログラム終了後に韓国の学生や教員とともに集合写真を撮影しました。撮影後に日本人学生と韓国人学生がチームを作って観光や食事に出かけ親睦を深めました。



＜お問い合わせ＞

岡山大学医学部保健学科病態検査学講座
教授 佐藤康晴
(電話番号) 086-235-6896
(FAX) 086-235-7156



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を支援しています。